

衛環研ニュース

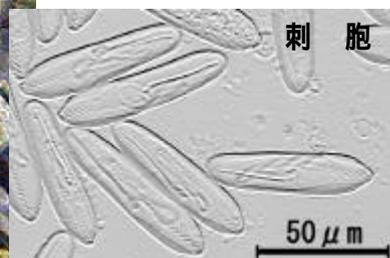
Okinawa Prefectural Institute of Health and Environment News



フサウンパチイソギンチャク



刺胞球



刺胞

- もし刺された場合は -
こすらずに、海水で洗い流し
氷や冷水で冷やします。
* 医療機関で受診しましょう。
* 酢は使わないでください。



受傷9日後
(ウンパチイソギンチャク)



ウンパチイソギンチャク

国内初

フサウンパチイソギンチャク

最近になって糸満市の大度海岸で確認されたフサウンパチイソギンチャクは、ウンパチイソギンチャクの仲間です。内田紘臣博士(株)串本海中公園センター)によると、トンガでの発見以来、約170年間報告がない生物であることがわかりました。

写真のとおり、乳白色で、太い突起が多数あり、ソフトコーラルのように見えますが、毒のカプセル(刺胞)が詰まった刺胞球を多数持っています。刺胞にはウンパチイソギンチャクと同じくらいの

強い毒をもつので、刺された場合、激痛がはしり、広範囲に腫れることがあります。また、治るまでに長期間を要したり、急性腎不全などの内臓疾患を伴うこともあります。

もし、大度海岸以外で見つけた場合には衛生動物室までお知らせ下さい。

目次

国内初 フサウンパチイソギンチャク.....	1	中国福建省より土壌流出防止の研修員.....	4
炭疽について.....	2	第19回JICA 衛生・環境分析技術者研修を終えて.....	4
遺伝子組換え食品について.....	3	消防訓練を実施.....	4